

日本基督教団 八ヶ岳伝道所 降誕祭 主日礼拝 NO.1151 2020年12月20日

牧師 山本護 奏楽 山本恵美 第一部礼拝 司式 渡部敬子 9:30~10:30  
 ※讃美は二番まで歌います 第二部礼拝 司式 斎藤美沙子 11:00~12:00

前奏	黙想	讃美歌	198	父、御子、みたまの
讃美歌	98	あめにはさかえ		聖餐式
祈禱		讃美歌	207	主イエスよ、こころ
聖書	イザヤ書 7:13~14	献金		
	ルカによる福音書 2:15~20	讃詠	547	いまささぐるそなえものを
讃美歌	103	まきびとひつじを		黙禱
説教	『救い主降誕の“しるし”』	主の祈り	564	
祈禱		讃詠	546	聖なるかな
讃美歌	109	きよしこのよる		祝禱
洗礼式		後奏		※信仰告白は洗礼式の中で唱えます。

「それゆえ、わたしの主が御自ら、あなたたちにしるしを与えられる。見よ、おとめが身ごもって、男の子を産みその名をインマヌエルと呼ぶ(イザ 7:14)」。インマヌエル(神我等と共にいますマタイ 1:23)の「しるし」を最初に見たのは誰だったか。「その光景を見て、羊飼いたちは～人々に知らせた(ルカ 2:17)」。しるしを見たのは、父母以外では野宿する羊飼いであった(2:8)。マタイ福音書では東方の学者だが。

救い主の降誕(2:11)について「聞いた者は皆、羊飼いたちの話をも不思議に思った(2:18)」。「不思議に思った」とは、続くマリアの「しかし(2:19)」からすると拒否的な反応であろう。ややくだけた口調で言えば、「天使や救い主を見ただってえ、愚かな羊飼いの話など信用できん。それも世を救うメシア様が家畜の餌箱で寝ているだなんて(2:16)、到底ありえない」というニュアンスかもしれない。

闇夜に野宿する羊飼いらは(2:8)、光り輝く天使(2:9)と天の大軍(2:13)に圧倒されて、互いに決意したのか(2:15)。それとも天使の「恐れるな(2:10)」という言葉で、転換させられたのか。天使は困惑する者の名を呼び、「恐れるな」という言葉で降誕の奇跡を受けとめさせる。母となるマリアに(1:20)、祭司ザカリアに(1:13)、そして養父となるヨセフに(マタイ 1:20)。今、世界は、羊飼いが野宿する不吉な夜の内にいる。その夜を進み往くすべての人が、何より「恐れるな」という言葉を必要としている。

ここで三者の違いを確かめておこう。第一者、羊飼いの降誕話を聞いた者は皆拒否的だった(ルカ 2:18)。第二者、母マリアは「これらの出来事をすべて心に納めて、思い巡らしていた(2:19)」。マリアは後年、少年イエスの不可解な行動に対しても「これらのことをすべて心に納めていた(2:51)」。分らないことは分らないまま「心に納める」落ち着いた柔らかさがあった。そして第三者、羊飼いらは「見聞きしたことがすべて天使の話したとおりだったので、神をあがめ、賛美しながら帰って行った(2:20)」。

羊飼いはどこへ帰ったのか。「野宿をしながら、夜通し羊の群れの番をする(2:8)」土にまみれた貧しい生活に、だ。傍から見れば何も変わっていない。だがまったく違っている。想像力を働かせよう。かつて羊飼いらは、ぼんやり虚ろに野宿していた。しかし今や、彼らの胸には救い主が宿っている。神をあがめ(大きくし)、慎ましさに充足し(己は小さく)、のびのびとした呼吸に希望が満ちている。

羊飼いは「見聞きしたこと(2:20)」で大きく転換させられ、神をあがめた(2:20)。天使以外から何を聞いたかは不明だが、見たことは分る。「飼い葉桶に寝かせてある乳飲み子を探し当てた。その光景を見た(2:17)」。その光景の何を見、何が残像として心に刻まれたのか。書いてないから私は想像する。

「貧民の俺たちのように、救い主は貧しくなられた」と思ったか。それもあろう。だが、預言者イザヤが語り、天使が告げた降誕の「しるし(2:12)」は、いっそう底知れぬものではないか。乳飲み子の明るく聖なる「瞳」。瞳の深さと輝きが、聖霊によって救いの「しるし」とされた、と想像してみた。

何を見たから信じるわけではない 何を聞いたから肯定するわけではない 降誕の奇跡は知性や感性では掴まえないのだから その徴は対象の如何によらない 偶然に思える聖霊の吹き方次第

第二部礼拝で花曲琴音(ハカトネ)さんの洗礼式を行います。9月から洗礼準備をし、キリストの姉妹として祈りと喜びをもってお迎えます。12/24(木)18:00 燭火礼拝。12/30(水)9:00~大掃除その後餅つき。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳伝道所」で検索して下さい。